

有限会社日の出大敷

石川県鳳珠郡能都町

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

改革型設備導入による漁業の高度化 事業効率化と地域特性に配慮した雇用機会提供

戦後現代表の祖父が現地で定置網漁業を創業。2004年に現社長が就任、船頭との二人三脚で漁獲品質の向上による付加価値改善を図る。当社の鮮度管理の評価は高く、地元市場水揚げの他、富山県氷見港有力問屋との信頼関係を構築し安定的売上継続に繋がっている。2015年には石川県漁業協同組合の儲かる漁業創設支援事業、実証事業者の認定を受け、生産性・付加価値の向上を図っている。(写真は取締役 中田 亨 船頭)

- | | | | |
|----------|---------------------------|--------|-------|
| ● 所在地 | 石川県鳳珠郡能登町字鶴川19字93番地 | ● 設立 | 1955年 |
| ● 電話/FAX | 0768-67-1010/0768-67-1027 | ● 資本金 | 300万円 |
| ● URL | http://hinodeoshiki.com | ● 従業員数 | 17人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 馬場 郁夫 | | |



生産性向上

改革型漁船・漁網・漁具の活用による付加価値の向上

当地域は、能登沖西岸と富山湾沖の変化にとんだ漁場で構成され、ブリ、フグ、ズワイガニ、スルメイカ等は全国トップクラスの水揚げを誇るが、市場変化等に対応する業態の変革が求められている。そこで、同社は海域の異なる2ヶ統の漁場での効率的で安定的な漁獲を図っている。また、特性に合った改革型漁船・漁網の活用により、省エネ、軽労働化、衛生品質管理の高度化を図り、漁場の特性の異なる出荷など、新たな出荷・流通の仕組みを創出し、魚価向上、収益性の安定した持続可能性の高い定置網ビジネスモデルを構築している。



改良型漁船

合理的な操業 漁業構造改革総合対策事業との連携

同社は、鮮度品質管理、漁法の工夫や、販路開拓を組織的に努めてきた。水揚げの効率的・効果的な安定に向け、漁獲物魚種組成の異なる離れた2ヶ統の大敷網の設置を行っている。2ヶ統操業の実現には、当海域の特性に則した、省エネ・少人数での迅速な操業方式の確立が必要であり、石川県漁業協同組合と連携し、定置網事業構造改善を進めた。①船上作業の時間短縮、軽作業化による収益性の向上、衛生・品質管理の高度化、②改革型漁網による出荷調整機能、クラゲ対策、管理作業時間の短縮③急潮(災害)対策時における迅速な網抜き作業の実現等、業務効率向上を図っている。



合理的な操業に向け設置した
2基の船上クレーン

地域の特性に配慮した雇用機会の提供

能登地域では400年以上前から定置網が営まれており、地域経済を支えてきた。しかしながら環境に優しい伝統的な漁法ではあるが、水揚げが安定しないことから、歩合制を採用せざるを得ない状況にある。乗組員の多くは60歳以上であり、農業との兼業や定年後の再雇用先となっているが、乗組員の高齢化と相まって大敷網の業態維持が大きな課題である。同社は地元高校のインターンシップの受入、新卒者の求人、若年層の雇用に取組んでいる。



インターンシップの様子

サービス